

第 4 5 期 決算公告

平成 29 年 2 月 27 日
 福岡県福岡市東区箱崎七丁目 9 番 66 号
 コカ・コーラウエスト販売機器サービス株式会社
 代表取締役社長 竹森 英治

貸借対照表

(平成 28 年 12 月 31 日現在)

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流動資産	1,881,494	流動負債	1,042,491
現金及び預金	66,041	買掛金	573,010
受取手形	687	未払金	62,647
売掛金	1,060,099	未払消費税等	82,090
貯蔵品	174,630	未払法人税等	36,991
前払費用	3,807	未払費用	172,995
未収入金	2,751	預り金	114,755
未収利息	24	固定負債	382,421
預け金	515,300	退職給付引当金	303,346
繰延税金資産	58,344	長期未払金	79,075
貸倒引当金	△ 191	負 債 合 計	1,424,913
固定資産	880,443	(純 資 産 の 部)	
有形固定資産	737,311	株主資本	1,337,024
建物	91,056	資本金	22,350
建物附属設備	15,137	資本剰余金	623,013
構築物	3,544	資本準備金	87,510
機械及び装置	3,491	その他資本剰余金	535,503
車両運搬具	256	利益剰余金	691,660
工具、器具及び備品	1,093	利益準備金	23,000
土地	622,730	その他利益剰余金	668,660
無形固定資産	487	別途積立金	88,000
ソフトウェア	487	繰越利益剰余金	580,660
投資その他の資産	142,645	純 資 産 合 計	1,337,024
長期前払費用	1,117		
繰延税金資産	137,208		
その他の投資	8,679		
貸倒引当金	△ 4,360		
資 産 合 計	2,761,937	負債純資産合計	2,761,937

(注)記載金額は、千円未満の端数を切り捨てております。

注 記 事 項

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準および評価方法

たな卸資産

貯蔵品

移動平均法による原価法を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法によっております。なお、耐用年数は次のとおりであります。

建物	5～38年
建物附属設備	2～20年
構築物	7～40年
機械及び装置	7～14年
車両運搬具	2～7年
工具、器具及び備品	2～15年

② 無形固定資産

定額法によっております。なお、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

売上債権、貸付金等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

② 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務および年金資産の見込み額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。

a. 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

b. 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用（債務の減額）は、その発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（1年）による定額法により按分した額を発生時から費用の減額処理しております。

また、数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として10年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。

(4) 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

2. 当期純利益金額

当期純利益 105,942 千円

（注）記載金額は、千円未満の端数を切り捨てております。